



『明日のカルタ』

倉本 美津留／著 日本図書センター Z159.5/クラ／

放送作家・倉本美津留が、今まで生きてきた中で大事にしてきたこと、人生のヒントになるようなこと、自分に対しての戒めなどを、テッポウ・デジイン。のユニークなイラストと共にカルタ形式で紹介する。

『覚悟の磨き方 超訳吉田松陰』

池田 貴将／編訳 サンクチュアリ出版 289.1/ヨシ／

後悔しない生き方とはなにか？ 時代の常識をことごとく破り、幕末の英雄たちに大きな影響を与えた天才思想家・吉田松陰が残した176の言葉を超訳。現代人の魂に火をつける、胸に迫る熱い名言が満載。

『「最高の授業」を、世界の果てまで届けよう』

税所 篤快／著 飛鳥新社 379.7/サイ／

偏差値28の元・落ちこぼれが、なぜ、世界各地の教育危機を次々と救うことができたのか？ 教師不足になやむ途上国に、ネットやDVDを駆使して「最高の授業」を届けつづける早大生の、世界を驚かせた社会起業戦記。

『全図解日本と世界の「発電」地図帳』

矢沢サイエンスオフィス／著 技術評論社 543/ヤサ／

主役の火力、歴史の水力、高効率の原子力、期待の自然エネルギー…。さまざまなエネルギーを用いる発電所と発電機のしくみや、日本と世界の現状を、写真・イラストを使用しなからやさしく解説する。

『負の世界遺産』

洋泉社 709/ヨウ／

アウシュヴィッツ、原爆ドームや、ボスニア・ヘルツェゴビナの紛争地、奴隷貿易の拠点となったゴレ島など、人類の負の側面を記憶している45の世界遺産を、ビジュアルで紹介する。

『アサギをよぶ声』

森川 成美／作 偕成社 Z913.8/モリ／

女性でありながら戦士になりたい少女アサギ。彼女の父は勇敢な戦士だった。アサギはハヤという戦士から教えを受けようとするが…。素直な語り口で1人の少女の成長を描く、長編ファンタジー。

『拝啓17歳の私』

蓮見 恭子／著 角川春樹事務所 913.6/ハス／

空手部の選抜大会出場を応援する校内ポスターが破られた。掲載された主将・結城の写真を狙っての犯行だったが、目撃者の証言では犯人は結城本人だという。身に覚えがない結城は、ある人物が真犯人だと気づくが…。連作短篇集。

『決壊石奇譚』

三木 笙子／著 講談社 913.6/ミキ／

鉱石の記憶を読み解くことができる少年、大地。彼は、同じ力の持ち主である祖父から記憶を受け継ぎ、昔、祖父が親友と交わした約束を守り続けていた。大地に誘われ地学部に入部した徹は、大地を約束から解放したいと願い…。

